

# 令和5年度 大和福社会事業計画

## 1. 運営方針

社会福祉法人を取り巻く状況においては、本年度からコロナウイルス感染症医療体制が5類扱いになることで対応を考えていかなければならない。世界情勢は、ウクライナ戦争に起因する物価高が経営圧迫しつつある。しかし如何なる状況になろうとも、社会福祉事業の根底を担う我々介護事業者は、利用者への手厚い介護を行うべく、地域住民と共に密接に歩む福祉施設として、永遠に事業を継続していく必要がある。その為には、全従業員が一丸となり、地域住民及び関係部署が求める理想的施設を構築するために日夜努力を惜しまない。

今年度は以下四項目を重点実施事項として、法人の運営を進めて行く。

### ① お客様への誠意あるサービスの提供

「笑顔」と「挨拶」を絶やさず、利用者個々のニーズや情報を的確に把握し、その人に合った個性的な援助が実践できるよう利用者と共に環境を整備する。

### ② 専門職としての職員の育成

職員一人ひとりが必要な知識・技術を取得できるよう施設内外の研修に参加する機会を提供し、さらには介護報酬加算取得につながる様、高齢者介護の専門職として資質の向上に努める。

### ③ 感染症の発生、蔓延防止への対応

高齢者の健康を損ね、生命の危険にも直結しやすいだけでなく、職員の健康までも損ねて、適切な人事配置及びサービスの提供が困難になることから、年間を通して感染症に関する情報を入手・周知するとともに、それぞれの感染症に対し、適切な予防対策を講じ発生及び蔓延を防止する。

### ④ 事故防止対策

各事業単位において事故再発防止対策の検討及びリスクマネジメント研修による職員の意識向上と環境整備を行う。

# やまと苑各施設事業計画

## 2. 各事業所別の重点計画

### (1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護

利用者の人命尊重を第一とし、安全対策と事故防止を図り、緊急時には適切に対応していく。特に感染症に関しては、十分な対策を図り、集団感染を防止し、万一の発生時には的確な措置を講ずる。

短期入所生活介護利用者においては、新棟での運営となり介護支援専門員等関係機関とのより一層の連携を図り、利用者のニーズに対応していく。また利用したいと言っていただけのように、より良いサービスを提供する。

### (2) 通所介護・居宅介護支援事業所

職員の資質の向上や知識及び技術の充実を図り、より質の高いサービスの提供を目指す。また利用者の満足度など評価に結びつくように各事業所内はもとより、お互いの事業所間や医療機関・他のサービス事業所等との連携を一層密にして、効率的かつ統一的なサービスの提供に努める。

### (3) グループホームやまとの里事業所

グループホーム及び有料老人ホームやまとの里は、住み慣れた環境の下、その人らしさ、家族の絆を大切にし、入居者のペースに合わせ、安心できる暮らし、地域に密着したサービスの提供に務める。

### (4) グループホームくめの里事業所

安定した利用者の確保に努め、より充実したサービスを提供し、地域に根ざした施設運営を進める。